

## ネイティブ シゾフィルム コミューネ コレステロールエステラーゼ

Cat. No. DIA-133

Lot. No. (See product label)

### はじめに

□明      ステロールエステラーゼは、加水分解酵素のファミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。この酵素クラスの系統名はステリルエステルアシルヒドロラーゼです。この酵素は胆汁酸の生合成に関与しています。

用途      この酵素は、臨床分析においてコレステロールオキシダーゼと結合することで、総コレステロールの酵素的測定に役立ちます。

別名      コレステロールエステラーゼ; コレステリルエステル合成酵素; トリテルペノールエステラーゼ; コレステリルエステラーゼ; コレステリルエステル加水分解酵素; ステロールエステル加水分解酵素; コレステロールエステル加水分解酵素; コレステラーゼ; アシルコレステロールリパーゼ; EC 3.1.1.13; ステロールエステラーゼ

### 製品情報

由来      シュチゾフィルム・コミュニーネ

外形      淡褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

EC番号      EC 3.1.1.13

CAS登録番号      9026-00-0

分子量      approx. 130 kDa

活性      グレード III 2.0 U/mg-固体以上（安定剤約20%を含む）

等電点      4.1±0.1

pH安定性      pH 2.5-7.5 (25°C, 20時間)

最適pH      4.8-8.0（コレステロールリノレート）、5.0（血清）

熱安定性      55°C未□（pH 5.5、10分）

最適温度      55-60°C

ミカエリス定数       $3.9 \times 10^{-5} \text{M}$ （リノレート）、 $9.2 \times 10^{-5} \text{M}$ （パルミテート）、 $6.3 \times 10^{-5} \text{M}$ （デシレート）、 $8.8 \times 10^{-5} \text{M}$ （プロピオン酸塩）

阻害剤      重金属イオン ( $\text{Hg}^{++}$ ,  $\text{Ag}^{+}$ ,  $\text{Fe}^{+++}$ )

安定化剤      ナチョレート

### 保管・発送情報

安定性      -20°Cで保管してください